GEITAN NEWS!

ゲイタンニュース

「第6回県政ふれあいトーク」を開催しました

11月12日、広瀬勝貞大分県知事が来学され「第6回県政ふれあいトーク」を開催しました。広瀬知事と本学教員が芸文短大のカリキュラムや取り組みについて意見交換を行ったほか、大講義室にて『芸術文化短期大学生に期待すること』をテーマにお話しをして頂きました。また、各学科から代表の学生が出席し、自分たちが学んでいることや努力していること、留学先でのエピソードなどを語りました。夢が実現した学生、夢に向かって頑張っている学生、参加した学生それぞれが異なる分野の中で、みなイキイキと充実したキャンパスライフを送っており、そんな学生たちに知事も興味深くいろいろと質問されていました。学生らは知事との1対1の対談に緊張した様子でしたが、貴重な経験となりました。

釘宮磐大分市長による講演を開催しました

12月3日、釘宮磐大分市長による講演「大分市長から次世代を担う若者へのメッセージ」を開催しました。中心市街地のまちづくりとして、シンボルロード「おおいたいこいの道」や南口駅前広場整備・JR大分駅ビル・北口駅前広場など、今後の計画について話されたほか、アントレプレナー事業(職員の提案ではじめた事業)として、自転車の似合うまちおおいた、森林セラピー事業、トイレアートのトイレンナーレ事業についてふれられました。自転車の事業や森林セラピーは、本学サービスラーニングの授業でも参加をしています。意見交換会では、大分市の防災・減災事業について、別府市との連携、駅裏の南北軸の人の流れ、バリアフリー化などについての質問があり、活発な討論が行われました。

「名誉教授称号授与式」を執り行いました

12月19日、本学学長室にて「名誉教授称号授与式」を執り行いました。名誉教授の称号は、本学を退職し、教育上、研究上、大学運営上及び地域貢献上、特に功績のあった方に与えられます。本学ではこれまで、31名の方々へこの称号を授与。今回は、昨年度退職された美術科 久保木眞人教授、音楽科 釈迦郡誠准教授、国際文化学科 吉良國光教授、同学科 染矢正一教授へ授与しました。中山欽吾学長は「これからも、地域貢献などさまざまな形で本学と関わり、個性あふれるユニークな活動をしていただきたいと思います。また、現役の先生たちのOBとしてもアドバイスをお願いします。本日はおめでとうございます」と述べました。

"習い事"なにか始めませんか!

[芸短オープンカレッジ ～平成26年度前期講座～] を開講します!

本学では、社会全体の学習ニーズの高まりに応え、地域社会に幅広い生涯学習の機会を提供することを目的とした「芸短オープンカレッジ」を開講しています。今年度も、絵画や語学、パソコン、映像など芸術系と人文系が一つになった本学ならではの個性的な講座を多数、ご用意しています。詳しくは、本学HP、または「芸短オープンカレッジ担当」までお問い合わせください。

情報をいち早くGet!

大分県立芸術文化短期大学の公式facebookをはじめ、各学科やサークルがfacebookを立ち上げています。イベントや公開講座、キャンパス内の様子など情報満載です。

大分県立芸術文化短期大学 ＊ OITA GEITAN VISUAL DESIGN 美術科ビジュアルデザインコース ＊ 美術科メディアデザインコース

音楽科　国際総合学科　情報コミュニケーション学科

恩師からのお別れの言葉

今年度で退職される先生方にお言葉をいただきました。

国際総合学科

専任講師:常 梅

一年間の芸文短大生活は、あっという間に過ぎてしまいました。短い間でしたが、まわりの先生と職員のみなさんに励まされ、学生さんたちに助けられ、とても充実で、有意義な一年間を過ごすことができました。至らない私が大過なく過ごすことができたのは、そんなみなさんの支えがあったからだと思います。大変お世話になりました。この一年間は、一生の想い出になります。ありがとうございました。これからもずっと、芸文短大の輝かしい未来を応援します。

※派遣期間満了により、中国の江漢大学へ帰学されました。

情報コミュニケーション学科

教授:凍田 和美

22年間、本学の情報化とネットワーク化の仕事(日々の授業も含んで)を中心にやってきました。現在では、研究化された技術はすぐに世の中に出てくるので、その技術を十分に理解する間もなく、多くの人たちがそれを使い始めています。17～8年前からこれまでずっと、便利さだけでなく、"安心安全"に重点を置いた「情報モラル」の研究活動を進めてきました。まだ、やり残した仕事もあるので、学内をうろうろすることがあります。みなさん見かけたらぜひ、声をかけてください。どうぞよろしく!

美術科

教授:澤田 佳孝

昭和48年4月、当時別府市にあった本学に24歳で赴任してから、瞬く間に41年の歳月が流れました。在任中には、さまざまな出来事がありました。それらの年月を振り返り、現在の私の心に浮かんでくるのは、平家物語の中の平知盛のことば「見るべき程の事をば見つ」という言葉です。また自分なりに一生懸命生きてきた自分自身を褒めてやりたいという思いです。今後は、私の理想であり、そのために準備してきた、静かな晴耕雨読の生活が実現できるように、日々努力を重ねていくつもりです。

発行2014年3月20日　〒870-0833 大分市上野丘東1番11号 大分県立芸術文化短期大学 広報室©